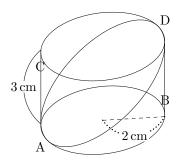
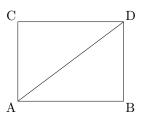
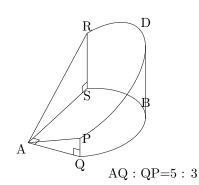
【956 回】







上の左上の図のような AB を直径とする、半径 2~cm の円を底面とする、高さ 3~cm の円柱があります。(点~C, 点~D はそれぞれ、点~A, 点~B の真上にある点です)

この円柱を、A、D を通る平面で切断したところ、真正面から見ると右上の図のようになりました。

さらにこの立体を、A を通り、底面に垂直な 2 平面で切断したのが左下の図で、AQ: PQ=5:3、 $\angle SAQ=90^\circ$ になりました。

このとき、図中のRSの長さは何cmであるかを求めてください。

ベルク・カッツェ

3:4:5 を利用して、 $4 \times (3/5) \times (3/5) \times (3/4) = 27/25$ 今年から高齢者

Q から AB に垂線の足を M、S から AB に下ろした垂線の足を N とする。

AD: AB: BD = 5:4:3なので、AQ: AM: PQ = 5:4:3

QAM、 BQM、 ASN は 5:4:3 の直角三角形。また、 BQM ASN。

AQ = 5 として計算すると、AM = 4、AN = MB = 9 / 4。AB = 25/4。

A から B までの 25/4 で $3\mathrm{cm}$ の高さなので、A から N までの 9/4 は、27/25 cm

uchinyan

まず,真正面から見た図より,最初に切断した AD を含む平面は円柱の底面に関して傾かず ABDC に関して左右対称です。

Q , S から AB に垂線を下ろしその足を E , F とし , P , R から ABDC に垂線を下ろしその足を G , H とします。

先に注意したことより, G, Hは AD上にあります。

 $\mathrm{DB}=3~\mathrm{cm}$, AB は円の直径なので $\mathrm{AB}=2*2=4~\mathrm{cm}$, より , DBA は 3:4:5 の直角三角形で , $\mathrm{AD}=5~\mathrm{cm}$, です。

さらに、 PQEG は長方形なので、 GEA = 90 °, GAE DAB, GA: AE: GE = DA: AB: DB = 5:4:3,

また,PQ = GE,AQ:PQ = 5:3 = GA:GE = GA:PQ,AQ:PQ:AE = GA:GE:AE = 5:3:4,

そこで,AQ:AE=5:4, QEA は 3:4:5 の直角三角形になります。一方で,AB は円の直径なので, AQB=90°,で, BQA QEA,BQ:QA:AB=QE:EA:AQ=3:4:5,

 $AB=4~\mathrm{cm}$ なので , $QA=AB*4/5=4*4/5=16/5~\mathrm{cm}$, です。

さらに , QAS=90 °より , QS は円の直径で , $QS=AB=4~{
m cm}$, QA : QS=(16/5):4=4:5 , で ,

 $\rm SAQ$ も 3:4:5 の直角三角形になり , $\rm AS=AQ*3/4=16/5*3/4=12/5~cm$, です。

一方で , SAF = SAQ - QAE = 90 °- QAE = AQE , より , AFS QEA , で ,

AFS も 3:4:5 の直角三角形で,AF:FS:SA = 3:4:5,AF = SA * 3/5=12/5 * 3/5=36/25 cm,です。

これより , RSFH は長方形なので , RS = HF , AHF ADB , HF : DB = AF : AB , HF : 3=(36/25):4 ,

RS = HF = 36/25 * 3/4 = 27/25 cm , になります。

 $(\frac{27}{25} \text{ cm})$